

令和5年度 大阪府立豊中支援学校 第3回学校運営協議会(記録)

- 1 日時：令和6年2月8日(木) 10:30~12:00
- 2 場所：本校中高等部棟 2階 調理室
- 3 構成：〈委員〉4名
 〈事務局〉校長、教頭2名、首席3名、教諭2名
 〈傍聴〉4名
- 4 内容

10:30	第3回協議会次第説明 校長挨拶	(事務局) (校長)
10:35	報告及び協議、質疑応答 ・学校経営計画に関する進捗報告 「1人1台端末活用促進におけた取り組みについて」 ・学校教育自己診断、学校生活アンケートの集計結果について ・令和5年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和6年度 学校経営計画	(委員長) (情報部) (首席) (校長)
11:55	事務連絡	(事務局)

●上記のとおり、報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

1人1台端末活用促進の取り組みについて報告

- ・他の支援学校と情報交換をしながら、良いところを取り入れていってほしい。支援学校の取り組みが地域の学校にも活かされたらよいと感じた。
- ・ICT機器使用の習熟度の差が激しい中でどのように工夫しているのか？
→受け身でなく、その子が「自分でできた」と思える使い方を伝えたいと考えている。

学校教育自己診断、学校生活アンケートについて

- ・アンケートにからめて行事の実施時期の見直しを検討しても良いのではないか。
- ・「進路」に関わる設問では、教職員と保護者で温度差がある。保護者への情報発信や周知が十分に伝わっていないと感じた。
- ・児童生徒数増加による学校全体への影響が大きい。行事の内容も様変わりした。
- ・生徒の回答率が低いのは、Googleフォームによるものであれば改善が必要と思われる。
- ・「ICT」の設問については、学校はICT機器の取組に積極的であると言える。このことが保護者に浸透していくと良い。アンケート結果からだけでなく、日々の様子から子どもたちの状況を把握し、寄り添い、様々な場面で安全・安心な学校づくりに努めてほしい。

- ・教職員が学部を超えて交流を深め、情報交換をしながら協力して行ってほしい。
- ・保護者アンケートより、約8割の項目で80点以上の評価というのは、学校教育活動全般についてご理解いただいております、PTAとも連携ができていているということ。さらなる連携を望む。
- ・全設問、令和4年度と比較し、肯定の項目が大幅に向上している。学校全体として、子ども・保護者・教職員が連携して学校づくりに取り組んでいる成果である。

令和6年度 学校経営計画及び学校評価

- ・中期目標において、就労率が3年後に100%は相当高い目標だと思う。
- ・支援学校卒業生徒の転職を希望する声が昨今多い。終身雇用の流れではなくなってきている。前向きに転職する人が増えてきている点は良いことである。